

困ったときはご近所さん 住民のつながりづくり

平楽スポーツメント自治会

中村

平楽の丘陵地に建つ1棟のマンションで構成される当自治会。ちょっとしたお困りごとについて自然に助け合えるような関係性をつくりたい。その思いから、イベントを通じた顔の見える関係づくりを進めている。

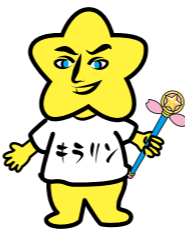
昨年度から、認知症サポーター養成講座や起震車での地震体験、クリスマス会などの様々な講座やイベントを開催。イベントには子どもから高齢者まで多くの人が集まり、久しぶりの再会や新たな交流で盛り上がったという。同時に、災害時に備えた取組にも力を入れている。いざという時は区役所から受領した要援護者名簿と管理組合がもつ名簿を活用して要援護者支援を行うよう、自治会と管理組合の協力関係を築いている。

こうした取組が、近隣の地域も交えて、かつての賑わいと新しいつながりを生んでいる。



講座やイベントにはマンションの内外を問わず毎回多くの方が参加し、ここで生まれ育った方も「自分の子どもにも経験させてやりたい」と家族で来てくれます。これからも笑顔で同じ時を過ごせるような関係を広げていきたいと思います。
(平楽スポーツメント自治会 会長 白井様)

イベントを通じた交流の場づくり、自治会と管理組合の連携、すばらしい!



チームお三の宮で 助け合える地域を目指す

お三の宮地区連合町内会・お三の宮地区社会福祉協議会

お三の宮

お三の宮地区では次々とマンションが建ち、住民同士が顔を合わせる機会が減っていた。そのような中でも、災害時に備えて顔の見える関係づくりを進めたいという思いから、地区連合と地区社会福祉協議会が連携して取り組んでいる。

世代間で交流し、地域の顔見知りを増やそうと、ペットボトル大会やオセロ大会など様々なイベントを両者が協力して開催。青少年指導員やスポーツ推進委員など、多くの人々が協力して運営している。また、当日の参加者が運営のお手伝いをしてくれることもある。

イベントには子どもとその保護者、高齢者まで幅広い世代の方が参加し、交流を深めている。今後も団体の連携や当日お手伝いをしてくれるサポーターを増やすことにより、地域のつながりをつくっていききたいという。



行事を通じて顔見知りになった方からあいさつをしてもらうこともあり、地域のつながりを実感しています。
(お三の宮地区連合町内会 会長 杉山様)
若い世代のアイデアも大事にしたいので、今後も色々な世代の方に参加してもらえよう工夫をしていきたいです。
(お三の宮地区社会福祉協議会 会長 有藤様)

団体の連携と参加者の協力で多世代交流の場づくり、素敵!キラッ!



地域の笑顔をお届け 南区ソーシャルマガジン

キラリ

南の風はあったかい

相手を思いやりながら
さまざまな工夫をこらしながら
つながりを持ちながら

「キラリ」では
そんな素敵な取組を御紹介します

Vol.4
2019.2



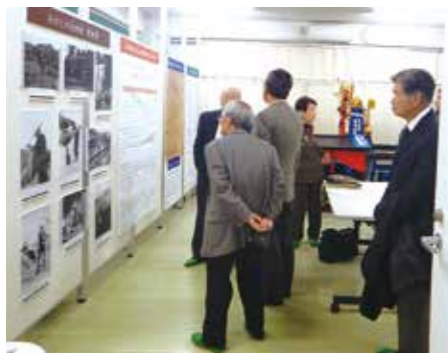
◆道の愛称プロジェクト (ふるさと創生の会)

南永田山王台地区では、道に愛称をつけることで、ふるさと意識の醸成、仲間づくりを目指す「道の愛称プロジェクト」に取り組んでいる。この日は、地域の魅力を再発見し、とっておきの場所を見つけようと、みんなでまち歩き。今後は道の愛称や表示方法について具体的に話し合っていく。詳しい様子は次号をお楽しみに。

現代から過去へタイムスリップ！永田村の歴史継承

永田助郷伝承保存会

北永田



かつて永田村と呼ばれていた北永田地区の歴史文化を「今の人」へ伝え続けたいと、地域や学校、協力団体等が一体となって伝承活動に取り組んでいる。

隔年で開催される「北永田ふるさとふれあいまつり」では助郷行列*を再現。一昨年の行列には、地元の小中学生や教員も参加し、総勢100名による見事な行列が披露された。

また、昨年11月末には永田小学校に「永田村すけごうルーム」がオープン。「永田村すけごうルーム」は小学生が命名したもので、この資料室には助郷行列の衣装や長持などの道具類をはじめ、永田村当時の様子がわかる貴重な写真などが展示されている。

永田村の歴史文化遺産を後世に継承することで、子どものみならず地域住民全体のふるさと意識を向上させるきっかけとなっている。*江戸時代、東海道を行く大名行列の荷物を運搬するため、宿場に多くの人馬を提供し、行列に随行していた。

「永田村すけごうルーム」は永田小学校の御協力を得ながら、地域や小学生の学習のために活用していきたいと思っております。また、秋の助郷行列では、子どもと地域住民が一体となり盛り上がってくれることを期待しています。(永田助郷伝承保存会 会長 服部孝祥様)

地域や学校が連携して、大切な歴史文化を伝承する活動って素晴らしいね。



みんなできれいにしよう 大好きな場所だから

蒔田公園愛護会

蒔田



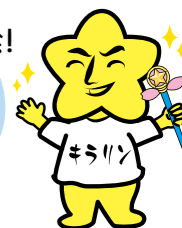
地域のお祭りやイベントで多くの区民が利用する蒔田公園。蒔田公園愛護会は、近隣小学校の放課後キッズクラブとの花壇づくり、子ども会や保育園、近隣施設とのごみ拾いなど、多くの人と一緒にきれいな公園づくりに取り組んでいる。

子ども会とのごみ拾いでは、ごみの種類ごとに点数をつけて、拾ったごみの合計点数を競う。子どもたちはゲーム感覚で楽しみながらごみの分別を学んでいる。また、せっかく歩くならごみを拾って歩こうと、防犯パトロールの際のごみ拾いを始めた。このほか、イベントで愛護会の活動をPRし、新たな仲間づくりにも努めている。

大好きな場所だからきれいにしたい。きれいにしたこと愛着がわく。そんな好循環で活動の輪が少しでも大きくなるように、これからも頑張っていきたいという。

蒔田公園は広いので愛護会だけでは人手が足りず、こうして子どもたちや色々な団体さんお手伝いしてくれることに感謝しています。公園を利用される方の喜んでる顔を見ると、やってよかったなあと思います。(蒔田公園愛護会 会長 尾上様)

色々な団体とお掃除！ゲーム感覚のごみ拾い、なんだか楽しそう！



子どもも大人も真剣勝負！麻雀、将棋で広がる輪

本大岡健康クラブ

本大岡



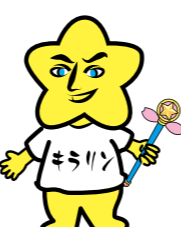
麻雀や囲碁、将棋を通して、健康づくり・仲間づくり・居場所づくり。そんな思いから、本大岡健康クラブは昨年4月、活動を始めた。

月に4回程度、大岡地区センターや町内会館で開催され、世代や男女を問わず、毎回30名を超える人が集まり麻雀や将棋を楽しんでいる。また、近年の将棋人気もあり、「子どもたちに将棋を教えてほしい」というお声も掛かり、月2回、大岡小学校放課後キッズクラブで児童に将棋を教えている。時間になると30名ほどの生徒が駆け寄ってくる。指導を仰ぎながら対局するその目は真剣そのものだ。

当クラブをきっかけとして防災訓練などの他の活動に参加する方もいるなど、地域の輪が広がっている。今後は、外出できない方のお宅への出張も行う。

参加者の奥様から「主人が外に出るようになり本当に感謝しています」との言葉をいただくことがあります。その言葉を聞くたびに活動を始めて良かったと役員一同喜んでます。子どもたち向けの講座や外出できない方のため出張も力を入れていきたいです。(本大岡健康クラブ)

子どもたちに将棋を教える姿にほっこり。出張なんてアイデアが素敵！



感震ブレーカーの全戸設置を目指して

港南郷自治会

六ツ川

港南郷自治会では一昨年、地震発生時の延焼被害を軽減しようと、感震ブレーカー*の全戸設置に取り組んだ。

ポイントはまず、「全戸設置」を目標としたことである。設置希望の有無を問わず、設置することを前提に呼びかけた。購入費用は自治会費と市の補助金で賄い、自己負担を0円にした。そして、高齢などの理由により自分で設置できないお宅は、班長と工作が得意な方が訪問し設置を手伝った。さらに、自治会員でないお宅には手紙を送り、設置のお願いをした。

各家庭の設置状況の調査から始め、設置までおよそ一年間かけて取り組んだ結果、130戸のうち8割のお宅に感震ブレーカーを設置することができた。地域住民からは、取組や設置の補助について感謝の声が届いている。

*設定値以上の震度の地震発生時に自動的に電気の供給を遮断するもの。各家庭に設置することで出火を防止し、他の住宅等への延焼を防ぐ。

「このまちを守りたい」という思いが伝わったのかなと思っています。地震の後に火事が起きないように、この取組をもっと広げていきたいです。ご興味があれば取組のコツをお伝えしますので、ぜひ一緒に考えていきましょう。(港南郷自治会 会長 芹田様)

地域一体となって防災力向上。根気強く取り組んだ成果だね！

